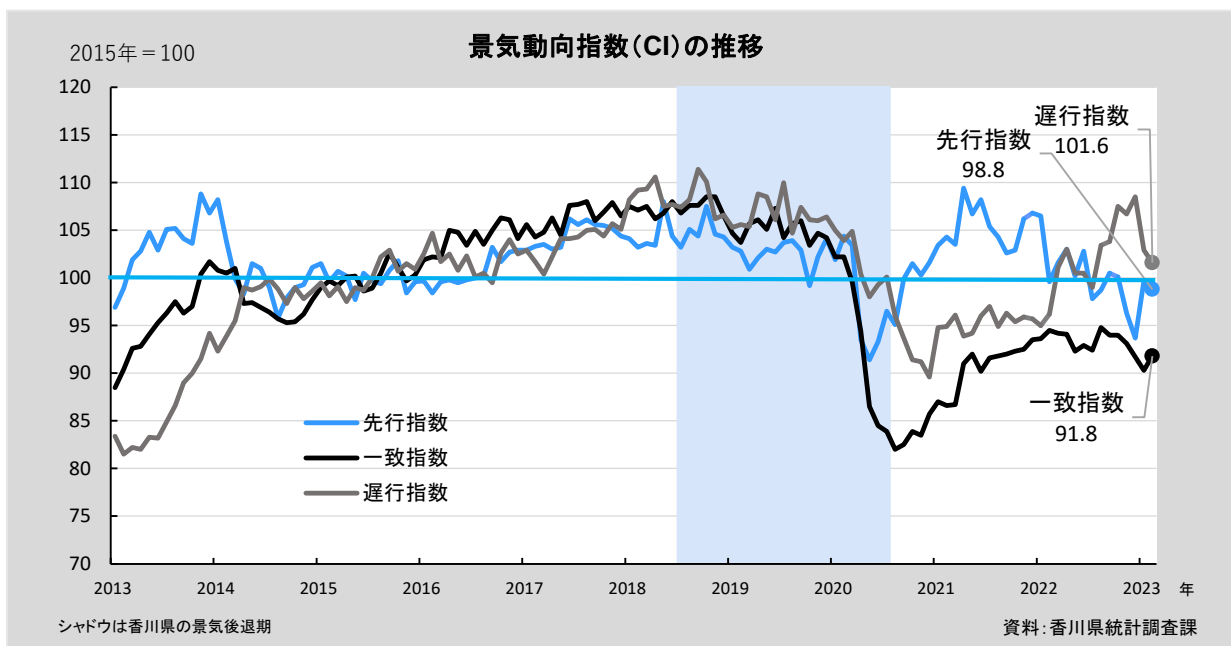


概況	景気は、緩やかに持ち直している。
個人消費	緩やかに持ち直している。
住宅投資	低調に推移している。
公共投資	減少している。
生産活動	弱い動きとなっている。
雇用情勢	緩やかに持ち直している。
貿易	輸出、輸入ともに減少している。
観光	持ち直しの動きが続いている。

景気動向指数(かがわCI) 一致指数 6カ月ぶり上昇



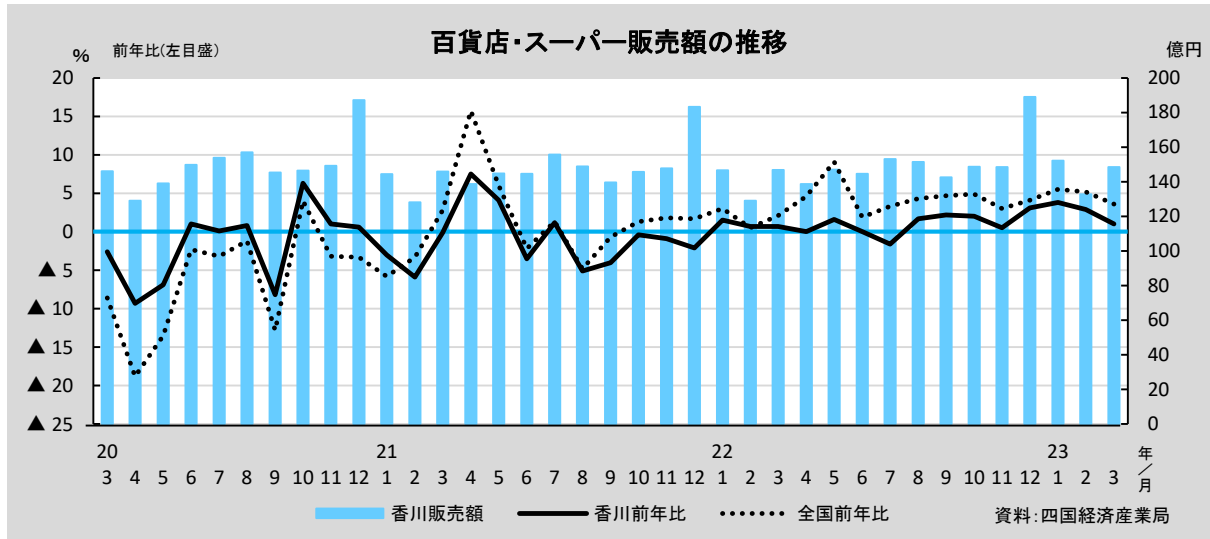
景気の現状をみると、2月のCI一致指数は91.8（前月比+1.5ポイント）と6カ月ぶりに上昇。CI先行指数は98.8（同▲0.9ポイント）と2カ月ぶりに下降。CI遅行指数は101.6（同▲1.3ポイント）と2カ月連続で下降。

景気の現状を示す一致系列の個別指標では、所定外労働時間指数、鉱工業出荷指数等が上昇に寄与したことにより、前月から1.5ポイントの上昇となった。

	先行系列	寄与度	一致系列	寄与度	遅行系列	寄与度
採用 景気 指標	1 新規求人数	▲ 1.41	1 雇用保険受給者実人員	▲ 0.08	1 常用雇用指数	0.54
	2 乗用車新車登録台数	▲ 0.10	2 有効求人倍率	▲ 0.58	2 有効求職者数	▲ 0.58
	3 鉱工業在庫率指数	0.24	3 所定外労働時間指数	0.75	3 消費者物価指数	▲ 1.51
	4 生産財生産指数	▲ 0.92	4 鉱工業生産指数	0.44	4 家計消費支出	0.00
	5 新設住宅着工戸数	0.74	5 鉱工業出荷指数	0.55	5 鉱工業在庫指数	▲ 0.20
	6 金融機関貸出残高	0.67	6 建築着工床面積	0.37	6 法人事業税調定額	0.11
	7 消費者態度指数	0.04	7 百貨店・スーパー既存店販売額	0.05	7 第3次産業活動指数	0.64

●百貨店・スーパー販売額

8 カ月連続増加 ↑

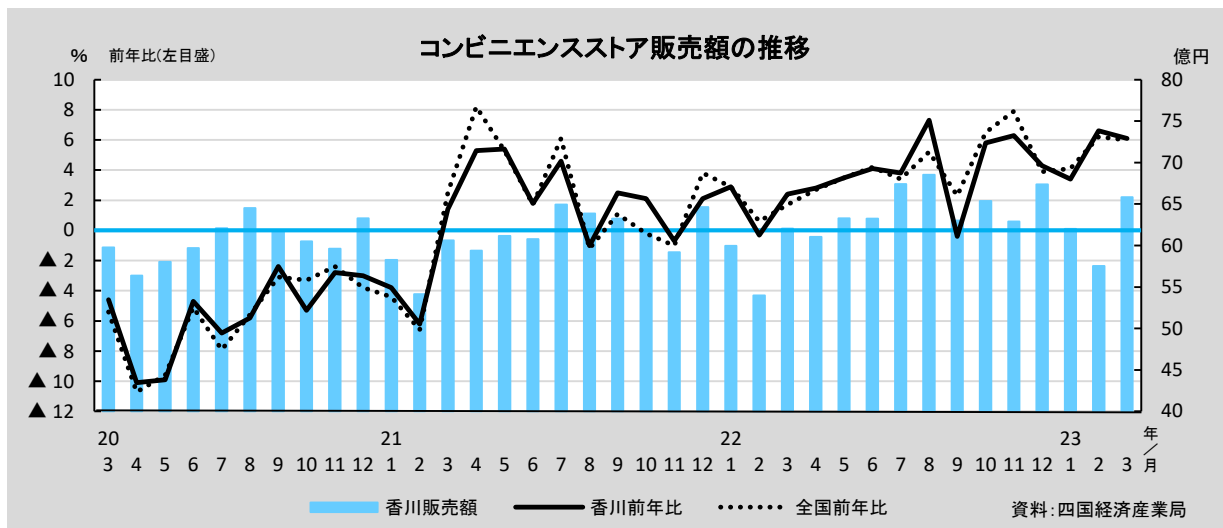


2023/3月	衣料品	身の回り品	飲食品	家具	家庭用 電気機械器具	家庭用品	その他の商品	食堂・喫茶	合計
販売額(万円)	121,935	76,581	1,064,716	2,253	4,539	63,846	150,008	474	1,484,352
前年同月比(%)	14.5	19.5	▲ 1.6	▲ 33.6	▲ 10.2	142.6	▲ 17.5	34.7	1.0

3月の百貨店・スーパー全店（83店）の販売額は148.4億円で、前年同月比+1.0%と8カ月連続で増加した。「衣料品」は卒業・入学式用のフォーマルウェアが好調で同+14.5%、「身の回り品」はバッグや靴が伸長し同+19.5%となった。一方、「飲食品」は物価高による節約志向で買い控えがみられ、同▲1.6%と減少した。

●コンビニエンスストア販売額

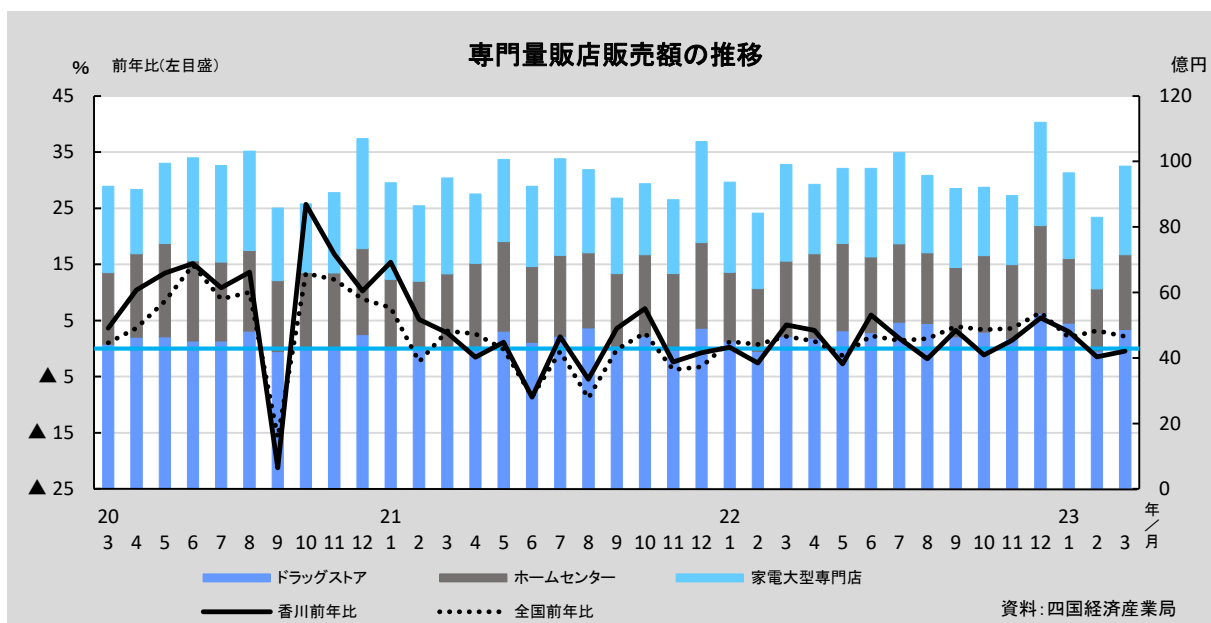
6 カ月連続増加 ↑



3月のコンビニエンスストア全店（403店）の販売額は65.8億円で、前年同月比+6.1%となった。入店客数の増加、販売促進効果、商品価格の上昇などで販売額が増加したほか、カウンターコーヒーやフライヤー商品などが好調で、6カ月連続の増加となった。

●専門量販店販売額

2 カ月連続減少 ↓

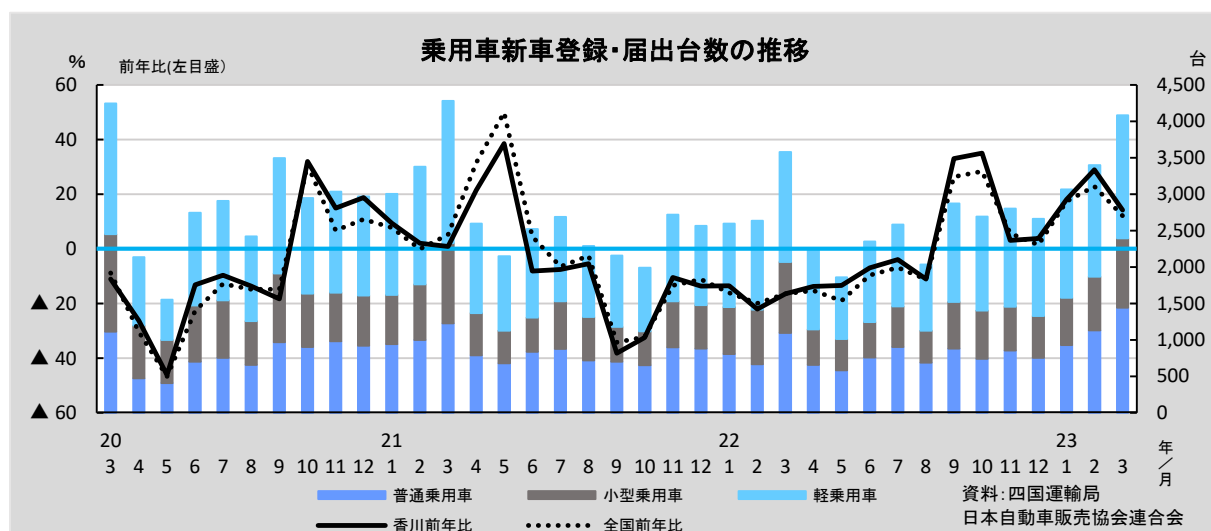


3月の専門量販店全店（211店）の販売額は98.6億円で、前年同月比▲0.5%と2カ月連続で減少した。

業態別にみると、**家電大型専門店**（29店）は、エアコンやテレビ、冷蔵庫など生活家電の動きが悪く、販売額は27.0億円で前年同月比▲8.1%、**ドラッグストア**（137店）は、冷凍食品などの食品や調剤医薬品が堅調に推移し、販売額は48.6億円で同+4.6%となった。**ホームセンター**（45店）は、入店客数の減少や、節約志向で日用消耗品の動きが悪く、販売額22.9億円で同▲0.9%となった。

●乗用車新車販売台数

7 カ月連続増加 ↑



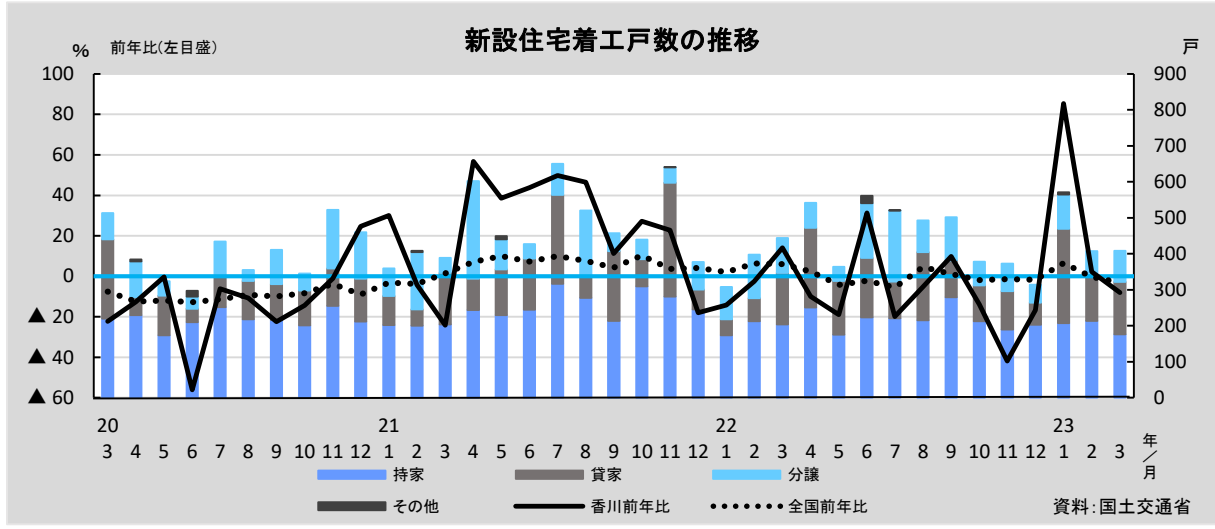
3月の乗用車（普通・小型・軽）新車販売台数は4,086台で、半導体不足や部品調達難の影響が和らぎ、前年同月比+14.2%と7カ月連続で増加した。

車種別にみると、普通乗用車で前年同月比+31.9%、小型乗用車で同▲2.6%、軽乗用車で同+12.1%となった。

住宅投資 低調に推移している

●新設住宅着工

3カ月ぶり減少 ↓

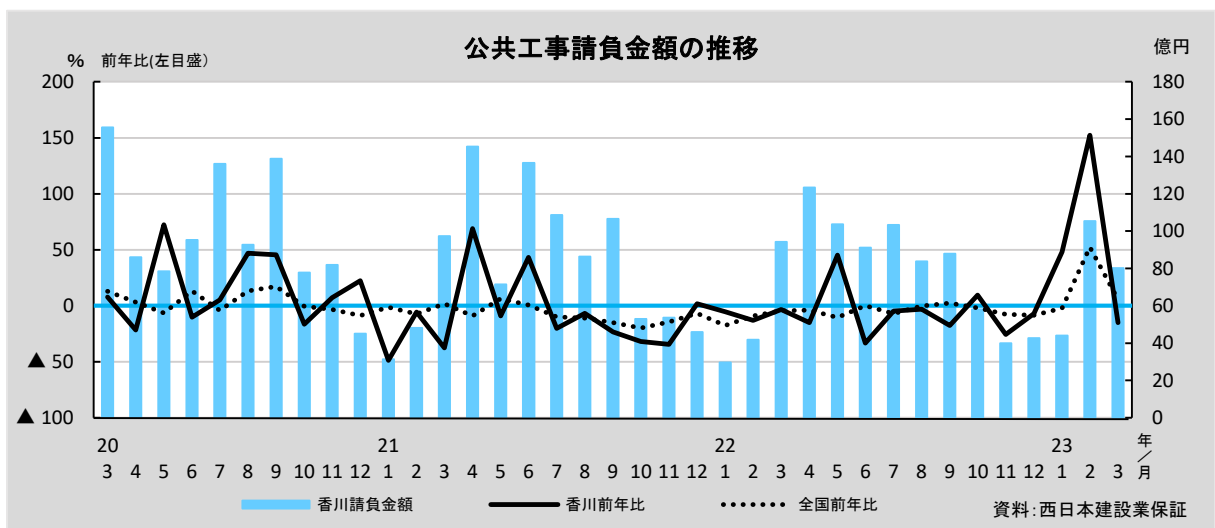


3月の新設住宅着工戸数は408戸で、前年同月比▲8.1%と3カ月ぶりに減少した。利用関係別にみると、持家で前年同月比▲13.7%、貸家で同+2.1%、分譲住宅で同▲11.3%となった。

公共投資 減少している

●公共工事請負金額

3カ月ぶり減少 ↓



3月の公共工事請負金額は80.2億円で、前年同月比▲14.9%と3カ月ぶりに減少した。発注者別にみると、国・独立行政法人等で前年同月比+100.2%、県で同▲39.8%、市町で同+47.9%となった。

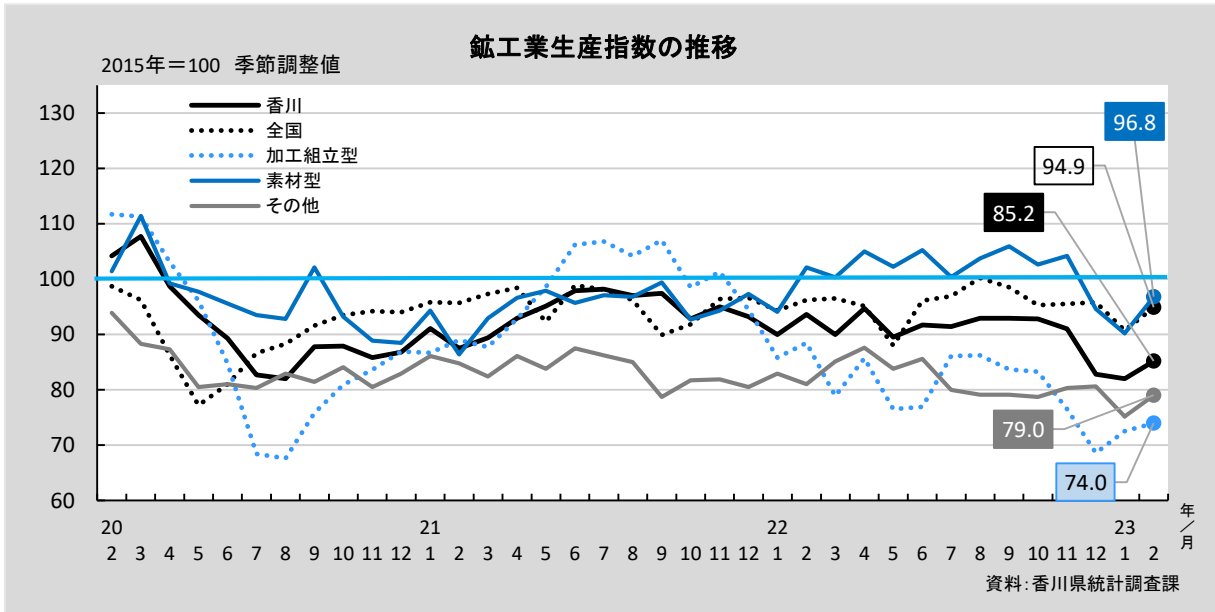
2022.4月～2023.3月の累計では前年同期比1.0%減少している。

生産活動

弱い動きとなっている

● 鉱工業生産指数

6 カ月ぶり上昇 ↑



2月の鉱工業生産指数（季節調整済指数）は85.2（前月82.0）となり、6カ月ぶりに上昇した。

業種別では、素材型の化学・石油石炭製品工業（医薬品など）は前月比+27.6%、加工組立型の輸送機械工業（鋼船など）は同+11.6%と上昇した。

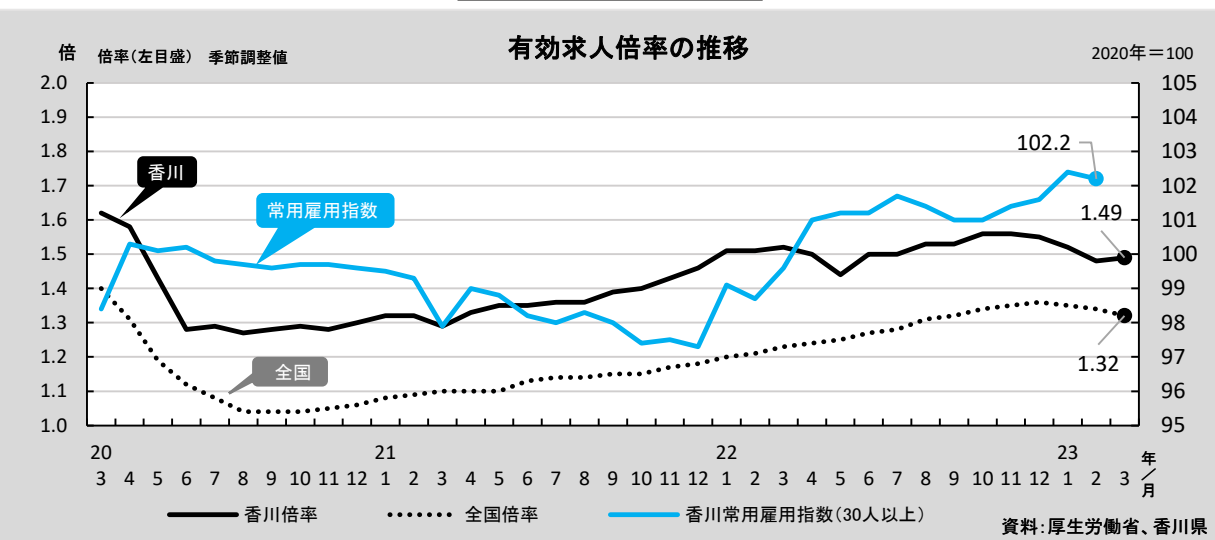
一方、加工組立型の電気機械工業（高圧遮断器、半導体集積回路など）は同▲10.4%と低下した。

雇用情勢

緩やかに持ち直している

● 有効求人倍率

5 カ月ぶり上昇 ↑



3月の有効求人倍率（季節調整値）は、1.49倍（全国12位）と前月より0.01ポイント上昇した。

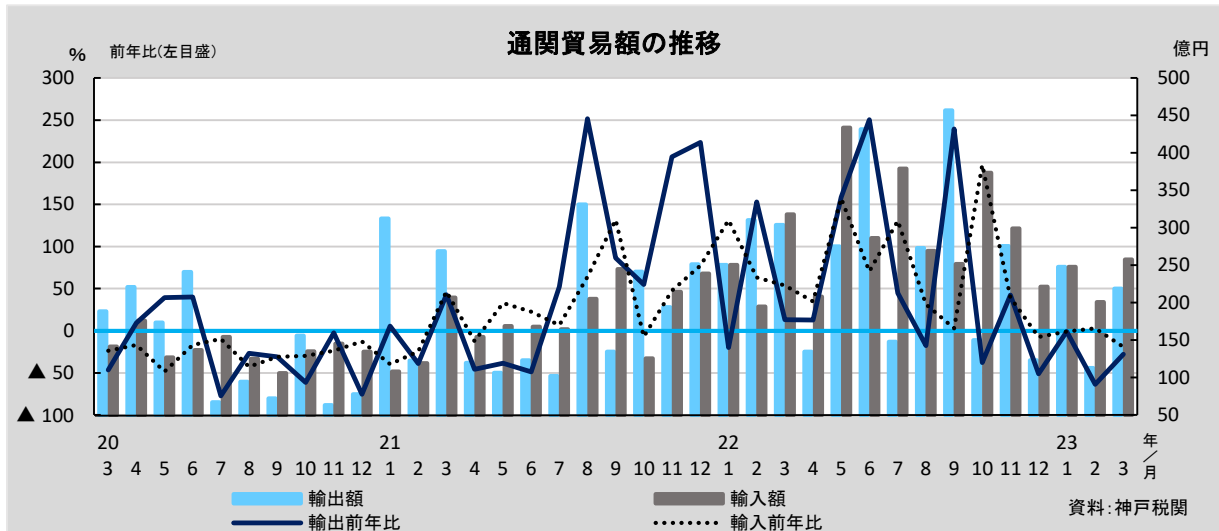
新規求人（原数値：前年同月比）は、鉱業・採石業・砂利採取業、生活関連サービス業・娯楽業、教育・学習支援業等で増加し、全体で+2.7%と3カ月ぶりに増加した。

2月の常用雇用指数（事業所規模30人以上）は、102.2となり、前年同月比は12カ月連続で増加した。

職業別常用有効求人倍率	倍
専門・技術的職業	2.16
事務的職業	0.74
販売の職業	2.44
サービスの職業	3.16
生産工程の職業	2.54
輸送・機械運転の職業	2.43
建設・採掘の職業	7.09
運搬・清掃・包装等の職業	1.17

貿易

輸出、輸入ともに減少している



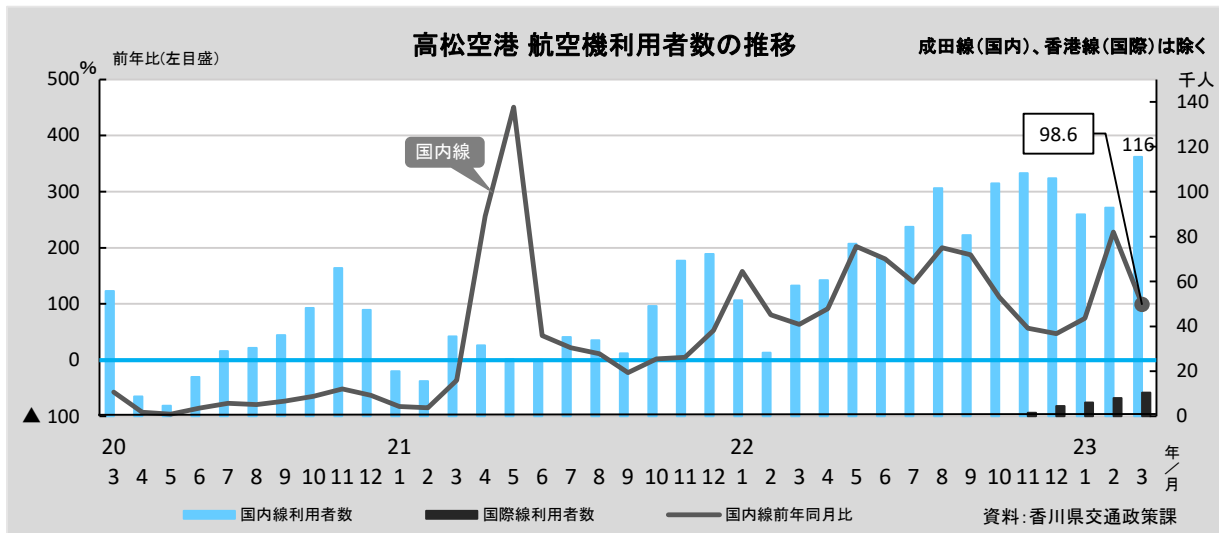
3月の輸出額は前年同月比▲28.0%の218.6億円、輸入額は同▲19.0%の257.4億円となり、差し引き38.8億円の入超となっている。

輸出は、石油製品輸出額が前年同月比▲57.1%の52億円となった。輸入は、石炭輸入額が同▲49.2%の79億円となった。

交通

国内線は18カ月連続増加、国際線は順調

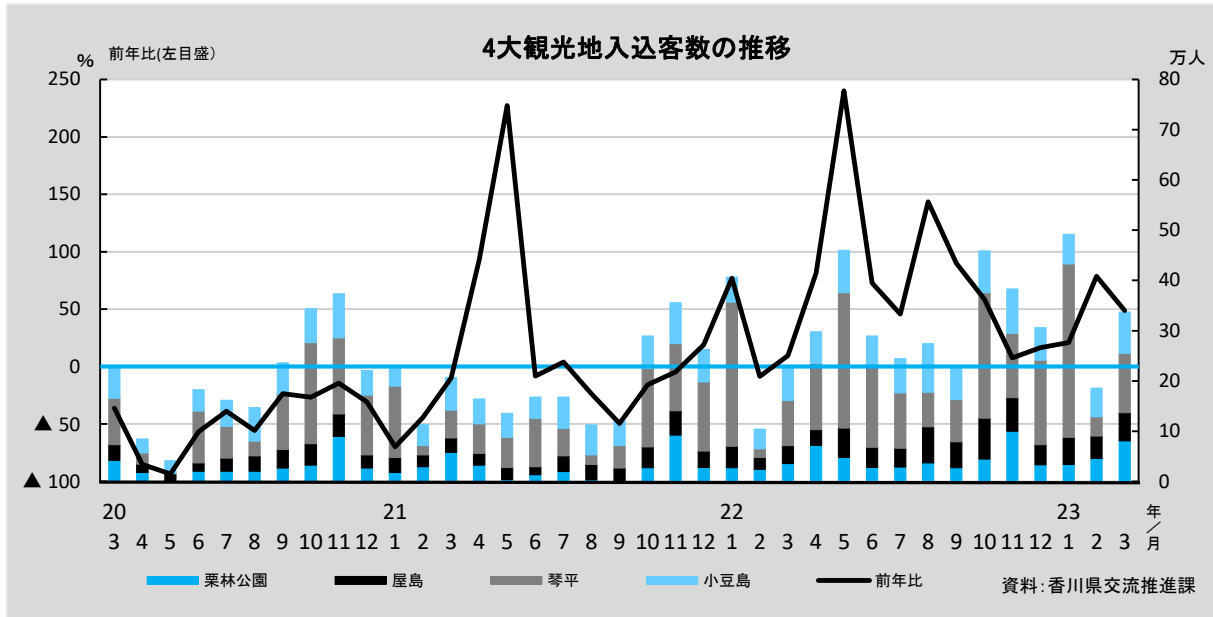
●高松空港旅客輸送実績



3月の航空機利用者数は、国内線(羽田・那覇線)が115,562人(前年同月比+98.6%)となり、18カ月連続で増加した。羽田線は106,066人(同+91.5%)、那覇線は9,496人(同+240.4%)となった。

国際線(ソウル・台北線)は、ソウル線5,964人、台北線4,589人となった。4月16日から香港線が週3往復で定期運航再開となった。

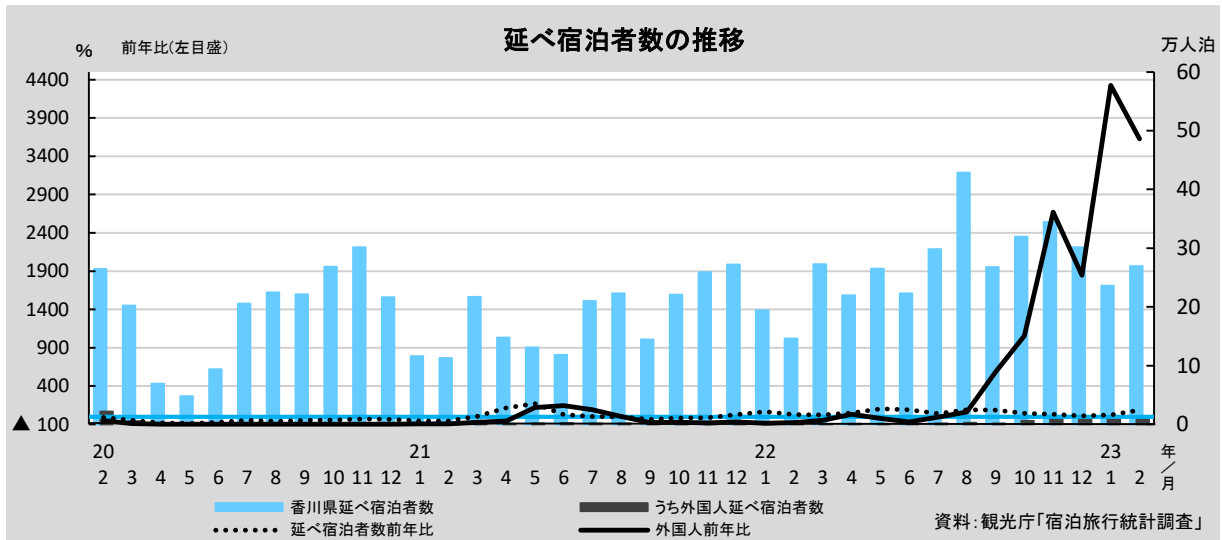
●主要観光地入込客数



観光地入込客数		栗林公園	屋島	琴平	小豆島	合計					
3月(人)	前年同月比	80,563	128.2%	55,938	56.4%	118,000	31.1%	82,820	25.8%	337,321	48.7%
1~3月累計(人)		160,157	84.7%	154,357	51.4%	501,000	27.2%	199,541	28.7%	1,015,055	37.6%

3月の主要観光地の入込客数は、前年同月比+48.7%と13カ月連続で増加した。全国旅行支援の継続に加え、春休みの旅行需要効果で、栗林公園は前年同月比+128.2%、屋島は同+56.4%、琴平は同+31.1%、小豆島は同+25.8%と全てが前年を上回った。

●延べ宿泊者数



2月の延べ宿泊者数は269,160人で、前年同月比+84.4%と15カ月連続で増加した。コロナ禍前の2019年同月比では▲8.4%となった。

うち、外国人延べ宿泊者数は11,920人となり、前年同月比+3625.0%と7カ月連続で増加した。2019年同月比では▲74.5%となった。